

## 最高経営理念

「生きる力（確かな学力・豊かな心・健やかな体）」を育み、

自らの将来を切り拓き、次代を創造する生徒を育成する」

## 学校教育目標

### 「気づきと応答 向き合うことを培う」

#### 目指す生徒像

- ① 課題に立ち向かい、（向き合う）自ら考え解決へ行動する生徒（気づきと応答）
- ② 学習や様々な活動に主体的・意欲的に取り組み、目標に向かって努力する生徒（向き合う）
- ③ 多様な他者と共に生き、（気づき）確かな人権感覚と規範意識を身につけた（応答）優しい心をもちながら寛容を身につけようとする生徒

#### 目指す教職員像

- ① 専門職としての自覚を持ち、最高経営理念に基づき、学校教育目標や重点の達成に力を注ぎ、生徒の「生きる力」を育む教職員
- ② 子どもへの愛情や慈しむ心を大切にする教職員（困りごとに気づき応答＜支援する＞）
- ③ 「授業を誇れるプロの教師」として自己研鑽に励み、協働していく中で質の高い授業を実践し、信頼される教師

## 学校経営の重点目標

- ① 「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業を実践し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、学びへの主体性を高める。（気づきと応答のバランス）
- ② 意図的・計画的に言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力等の知識を活用させ、学びに向かう力や人間性を育成する。（気づき・応答・向き合う）
- ③ GIGAスクール構想の充実期を意識した教育活動を実践していく。
- ④ 問題行動やいじめの未然防止に努め、ルールや法を守り、正義を重んずる規範意識を育成する。
- ⑤ 自己肯定感や自己有用感等の自尊感情を高める取組を推進し、支え合い高め合う集団を築く。
- ⑥ 学習環境を整備し、いつも美しく、安全で安心な学校づくりを進める。
- ⑦ 心身の健康を維持し、明るく生き生きとした学校生活を送らせる。
- ⑧ 情報を発信し、学校評価を活用して教育活動の改善を図り、家庭・地域と協働する開かれた学校づくりを推進する。

⑨ 働き方改革を推進し、教育ソフトを活用するなど校務や業務の効率化と教育の質の向上を両立する。

### 学校経営の重点目標の具体的実践

① 「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業を実践し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、学びへの主体性を高める。

◇ P D C A サイクルを生かしたカリキュラム・マネジメントを実践し、関連単元配列表の見直しなど年間計画に基づいた評価時期までの学習計画を明確にし、「つけたい力」を確実に身につける授業を展開する。

◇ 授業では「本時の目標」を確認し、生徒同士が協調的に行う「まとめ・振り返り」を取り入れ、理解と定着を徹底する。

◇ 探究活動の手法を取り入れ、授業課題に対して探求心を持って取り組めるよう誘導し、生徒の言語活動が中心となるような授業、深い学びに向かう授業を行う。

◇ 基礎基本の定着を図るため、ICT 機器も活用しながら、目指した家庭学習課題を教科・学年で計画的に実施するとともに、授業につながる探究的な家庭学習課題も適宜設定し、家庭学習の習慣化を図り、学びへの主体性を育成する。

☆入学時よりも必ず力をつけて卒業させる。指導と評価→結果に責任をもつ。

② 意図的・計画的に言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力等の知識を活用させ、学びに向かう力や人間性を育成する。

◇ 知的好奇心を刺激するよう発問を工夫し、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的な学びを重視し、思考・発信型の授業を行う。

◇ 「深い学び」につながる単元や題材等の構成をデザインし、生徒同士が協働的に行う「協議や交流」「まとめ・振り返り」を取り入れ、他者の考えや思いを参考にし、自己の考えや思いを他者に伝える力を育成する。

◇ キャリア教育の視点から全教育活動を関連づけるとともに、S D G s の視点を取り入れ、「総合的な学習の時間」における探究的な学びを重視する。

☆主体的・・対話的で深い学びを実現するため、教科会等で質の高い授業への創意工夫を進める。

③ G I G A スクール構想の充実期を意識した教育活動を実践していく。

◇ G I G A スクール構想を更に推進し、タブレット端末を活用した家庭学習課題の提示や I C T 機器の効果的な活用を図る。図書室を活用した授業も年1回以上行い、調べ学習等、情報収集や活用能力を高める。

◇ デジタルドリルや採点補助ソフトの活用など G I G A スクール構想の充実期を意識した教育活動を実践していく。

☆ICT機器を活用した研究授業や公開授業などにより研修を重ねていく。

④ 問題行動やいじめの未然防止に努め、ルールや法を守り、正義を重んずる規範意識を育成する。

- ◇あいさつや声かけを徹底し、生徒との信頼関係を築き、規律ある学校にする。
- ◇常に目配り・心配りを心がけ、見逃しのない指導・機動力ある組織的な指導を行う。**(気づき)**
- ◇生徒会活動や学級活動において生徒の自治意識を高める段組を推進する。
- ◇道徳の授業を要とした道徳教育を充実する。

☆主体性、自主・自律、向上心を育む指導を推進する。

⑤ 自己肯定感や自己有用感等の自尊感情を高める段組を推進し、支え合い高め合う集団を築く。

- ◇授業や学活では必ず一人一人全員への声かけと一人一人全員の発話を引き出すことを心がける。
- ◇良さを伸ばし、課題に向き合う姿を支援する。
- ◇個で取り組む場面、仲間と協力する場面、それぞれの適切な指導と評価を行い、達成感を味わわせるとともにさらなる改善向上への支援を行う。
- ◇不登校生徒や困りをかかえた生徒に対して計画的な支援を行う。

☆「ほめる」ことを大切にし、「向上心」を育てる教育を実践する。

⑥ 学習環境を整備し、いつも美しく、安全で安心な学校づくりを進める。

- ◇一斉に定期点検などを行い、安全を徹底し、創意工夫ある教育活動を推進する。
- ◇校内外の清掃活動を徹底する。
- ◇タイムリーかつ創意工夫ある掲示物を掲示する。
- ◇学校營繕ならびに安全管理、救命講習等、平常時の危機管理を徹底する。
- ◇防災訓練等で「もしも」に対する備えを行う。

☆「命を守りきる」「事故・けがの未然防止」を常に念頭に置き、校内の点検を隨時行う。

⑦ 心身の健康を維持し、明るく生き生きとした学校生活を送らせる。

- ◇生活習慣の確立を支援し、健康を保持・増進する意識と態度を育てる。
- ◇体育的行事や部活動の充実を図り、体力の向上を推進する。
- ◇性に関して適切な行動選択ができる性教育を行う。
- ◇飲酒・喫煙・薬物乱用の有害性、危険性について正しい知識を身につけさせる。

☆自他の命を大切にする生徒を育てる。

⑧ 情報を発信し、学校評価を活用して教育活動の改善を図り、家庭・地域と協働する開かれた学校づくりを推進する。

◇地域と連携した体験的活動やボランティア活動を有効に活用し、社会との結びつきを実感させながら、地域や社会の次代を担う子どもを育てる。

◇ホームページや通信等で学校の様子を保護者・地域に発信する。

◇学校評価を年2回実施し、教育活動の改善に生かす。

◇PTAや学校運営協議会、ボランティア等、地域や外部の人的・物的資源を生かした教育活動の充実を推進する。

☆アカウンタビリティ（説明責任）、コンプライアンス（法令遵守）とともに、進んで情報を発信し地域に信頼される学校を築く。

⑨ 働き方改革を推進し、校務や業務の効率化と教育の質の向上を両立する。

◇学校現場の働き方改革を推進への意識を高め、会議の効率化、教科内での連携強化等協働していく中で校務や業務の効率化を図る。

◇校務支援員、部活動指導員、外部コーチ、ボランティア等の人材を活用し、超過勤務の削減を推進していく。

◇PTA・保護者・地域に働き方改革への理解と協力を得る。

◇時間と心のゆとりを教材研究や自己研鑽に生かし、教育の質を向上させる。

☆学校を働きがいのある、魅力ある場所にする。

「小中一貫教育」～9年間の教育目標と目指す子ども像～

○ 9年間の教育目標

「次代をたくましく生き抜く力を育てる」

○ 9年間で目指す子ども像

- ・しっかりとあいさつのできる子ども
- ・意欲的に取り組み、やり切る子ども
- ・自ら学ぶ子ども
- ・自分、人、ものを大切にする子ども
- ・健康、安全に気をつける子ども

○具体的な段組

☆学力向上を核とした小中の連携

- ・小中4校の管理職による定期的協議
- ・小中4校の教務主任、小中連携主任による定期的協議
- ・小中4校研究主任による定期的協議
- ・小中4校生徒指導部長、生徒指導主任による定期的協議
- ・小中4校連携による教科指導ならびに道徳の授業を通した交流、参観、研究協議  
(R6～7年度しなやか道徳教育研究指定校)